



認定看護師通信



2017年7月発行
Vol. 19

担当：脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

くまモン脳卒中教室始めます！

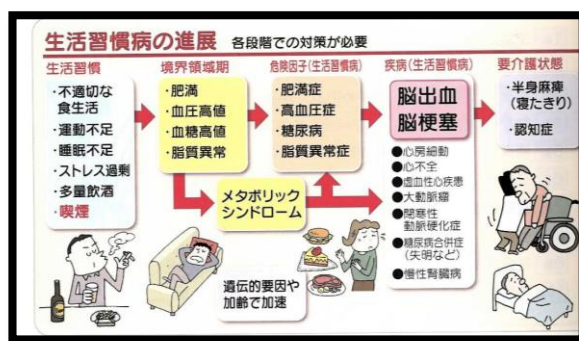
脳卒中は再発予防の取り組みも大変重要です。回復期リハビリ病棟では週2回、再発予防教育教室を集団で実施しています。また急性期病棟においては短い入院期間で、受け持ち看護師が個々で再発予防のためくまモン指導を実施してもらっています。その中で急性期からの自宅退院の患者さんを対象に、患者さんやご家族に対して健康増進や再発予防、障害を持ってからのライフスタイル、現在の治療、利用可能な福祉資源などについて情報提供し、教育を行いながらスタッフの皆さんと再発予防に取り組みたいと思います。

文責 寺本清美



くまモン脳卒中教室の流れ

Myweb イントラ → 各種様式ダウンロード → 看護部 → 認定看護師コンサルテーション依頼用紙（レチェック後） → くまモン脳卒中教室チェックリスト記載し内線（8311）寺本までご連絡下さい。受講日の調整をします。



チェックリスト用紙には入院前の生活習慣、危険因子、内服薬（印刷可）の情報の提供をお願いします。

担当：慢性心不全看護認定看護師

第3回 九州心不全緩和深論プロジェクトにみんなで参加してきました！！



7月22日に福岡市で開催され、全国より約120名の参加がありました。当院からは、梶原医師・本多PT・大津OT・中2スタッフ陣内・小林・赤木看護師と参加してきました。参加職種は多岐に渡り、グループ毎に3事例のディスカッションを行い『心不全緩和』に関して一緒に考え、大変濃厚で有意義な時間となりました。

『心不全緩和』は『がん緩和』に比べるとあまり取り組みが進んでいません。今回の学びを、臨床の場で活かせるように、日々精進していきたいと思ひます。

『心不全緩和』に関心がある方、次回一緒に参加してませんか。文責 岩川 美子

担当：皮膚・排泄ケア認定看護師



患者さんの高齢化により、高度皮膚脆弱状態である方が増加しています。触った、打撲した、知らないうちに表皮剥離していた！！テープを剥がす時など、日々とても気を遣われていることと思ひます。

裂傷した部位は治癒遅延状態となったり、潰瘍化する事もありません。発見した時は、表皮を早期に戻すことが重要です。ドライスキンを予防する → 発見時は気軽に相談ください。文責 松北

| 予防と発生後のケア | |
|-----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 予防 | <ul style="list-style-type: none"> 全身状態：加齢、長期ステロイド薬使用、抗凝固薬使用、低活動性、透析治療歴、低栄養状態 皮膚状態：乾燥・皸裂、紫斑、浮腫、菲薄化 患者行動：急暴・不穏な運動、不穏行動、物にぶつかる 管理状況：体位変換・移動介助、更衣の介助、医療用テープの貼付、器具(抑制具、医療用リストバンドなど)の使用などを確認 |
| ケア | <ul style="list-style-type: none"> 外力保護ケア、スキニング(保護ケアが重要)、栄養管理、医療・介護メンバー教育、患者・家族教育 |
| 発生後 | <ul style="list-style-type: none"> 止血し、洗浄後に皮膚を元の位置に戻す 皮膚がずれず、創周囲に固着しないような創傷被覆材を選択し、湿潤環境を保つ 皮膚・排泄ケア認定看護師、または専門医師に相談 |